

予算決算常任委員会審査報告書

平成 29 年 12 月 18 日

飯綱町議会議長 清 水 満 様

予算決算常任委員会委員長 風 間 行 男

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので会議規則第 77 条の規定により報告します。

記

事件番号	件 名	審査の結果
議案第 88 号	平成 29 年度飯綱町一般会計補正予算（第 7 号）	可決

次に本委員会の審査の経過及び主な質疑について報告します。

■議案第88号 平成29年度飯綱町一般会計補正予算（第7号）

質 疑：土木費の減額について、事業の遅延等の対応はどうか。

回 答：北川のM1-12号線は本年度で完了予定だったが、86メートル程残ることから、来年度、2,000万円程度の事業費がかかる予定。風坂汐水線の舗装修繕工事は、今年から平成33年の5年間で総額2億5,000万円の事業費により舗装改良する予定だが、本年度実施予定額が少ないため、少し延びてしまう状況。

質 疑：コミュニティ助成事業の不採択の理由及び申請地区の弊害は。

回 答：この事業は宝くじの収入を活用している事業であるが、その宝くじの売り上げが落ちてきている。多い時は4地区が採択されていたが、今年については2地区であり、減少傾向にある。不採択の2件は、扇平組の公園遊具整備と東柏原組のお祭り用の幟旗だが、今年は採択されない可能性もあるということを以前からお伝えしていた。不採択になった地区については、来年優先的に実施したいと考えている。

質 疑：道路・土木費関係が要求どおりに交付が無い国庫補助の背景と新年度予算編成への対応は。

回 答：社会資本整備の国庫補助金だが、要望どおりに予算がつかないのは飯綱町が特別ということではない。災害対応や歩道等の安全対策については補助が付きやすく、道路拡幅は後回しになる傾向が顕著にある。来年度予算を編成するにあたって、これまでの実績を踏まえれば、要望したとおり国庫

補助金がつくということは考えられない。国庫補助導入の箇所をどこにするかというメリハリをつけた予算編成が大事。また、住民や区長組長から要望のある、生活道路や用水整備等もストックされてきており、これについても担当課長と協議して、どこかで大幅に予算づけして要望に応じていかなければならない

質 疑：商工費の町民無料券事業について、配布時期など具体的な内容は。

回 答：観光協会と打ち合わせ、もう一度、多くの人が観光地を訪れ、冬の観光を盛り上げようということで無料券を発行する。時期については12月末に広報紙と併せて配布の予定。無料券でスキー場のリフト一日券、またはワカサギ釣り利用券のどちらかを1世帯につき2枚まで引き換えることができる。予算は480万円で、概ね全世帯の2割程度がスキー場の大人一日リフト券を2枚利用することを見込んでいる。

討 論：なし

採 決：全員賛成で可決とした。